

沖縄県
久米島町

貿易が盛んだった
琉球王朝時代から、
もっとも美しい島の
ひとつとして、
「球美の島」とも
呼ばれた島のまち

面積 63.65㎢　**世帯** 3,907世帯　**人口** 6,862人

2026年8月末時点



久米島町の沿革

2002(平成14)年4月1日に島の2つの村(具志川村・仲里村)が合併して町が誕生

包括連携協定

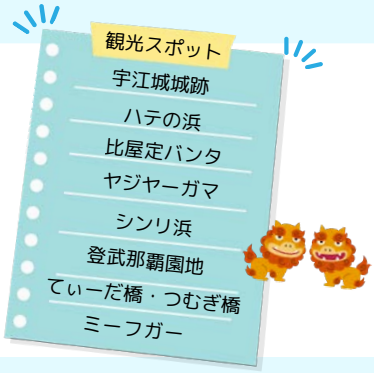
2018年6月28日締結

町内の教育機関

小学校：5校 (353名)　中学校：2校 (184名)
高等学校：公立1校
※ 括弧内は児童生徒数

2026年5月1日時点

見どころ



久米島は、沖縄本島那覇市の西方約100kmの東シナ海に位置し、久米島本島および奥武島・オーハ島の有人離島・鳥島・硫黄鳥島などの無人島から構成されています。
南東海岸部は、「日本の渚百選」に選ばれた「イーフビーチ」があり、東洋一といわれるサンゴでできた真っ白な砂とコバルトブルーの砂州の「ハテの浜」など美しい海浜地帯となっています。宇江城岳の山頂に築かれた宇江城城跡(うえぐすくじょうあと)は、沖縄県内に点在する「城跡(グスク)」の中では最も高い標高310mの位置に築かれた城で、築年代は琉球統一前のグスク時代(15世紀頃)と言われています。城跡からは久米島全体を見下ろすことができ、素晴らしい眺望が広がっています。

イベント・レジャー



エメラルドグリーンの海と、白い砂浜に囲まれたハテの浜など数々の美しい砂浜があり、海水浴やスノーケリングが楽しめます。周囲に広がる砂地にはサンゴの群生や色とりどりの魚が泳ぐ姿が見られます。また、久米島の近海では、親子で海遊するザトウクジラやジンベイザメ、イルカやマンタなども見ることができます。
年間平均気温が20度を超える亜熱帯性気候で1年中あたたかい久米島では、年間を通してさまざまなイベントが行われています。

人気のアクテビティ：シーカヤック、スノーケリング、ダイビング、エイサー体験、三線体験

特産品



太陽の光をたっぷり浴びて育ったビタミン豊富な果物、黒潮の流れる漁場から届く新鮮な海産物や海洋深層水を利用して育てた海産物などがあります。
久米島紬、泡盛、熱帯果樹(マンゴー・パイナップルなど)、海洋深層水、車エビ、海ぶどう

交通アクセス

✈ 那覇⇒久米島(約30分)
🚢 那覇⇒久米島(約3時間)

宿泊

リゾートホテルから民宿まで様々な宿泊オプションがあります。

「観光」&「サンゴ」

久米島の歴史

中国をはじめ、東南アジアや朝鮮、日本と盛んに貿易（中継貿易）や通行を行っていた琉球王朝時代、久米島は、その「寄港地」として栄えていました。さまざまな文物と共に17世紀の初め頃「紬」が伝わったとされ、現在も町の特産物となっています。久米島が初めて歴史書に登場するのは、「続日本記」で「714(和銅7)年に球美の人が奈良を訪れた。」ことが記されています。球美とは、久米島のことと言われています。球美の歴史の中で、その時代この地では岩の間から湧き出る自然の「泉」を「山の汁」と呼び、その山の汁をせき止めて田を作り、稲作を盛んに行っていきました。



久米島の自然

久米島は、沖縄県内では、沖縄島、西表島、石垣島、宮古島に次いで5番目に大きく、絶滅の危機にある島固有の動植物などが生息しており、自然度が高く、いきものの多様性が豊かな島です。島全域が「久米島県立自然公園」に指定されていることに加え、キクザトサワヘビの生息地である宇江城一帯が「久米島の渓流・湿地」としてラムサール条約湿地に登録されています。

久米島の希少ないきもの



クメジマボタル
オモロヤマタカマイマイ
リュウキュウヒメハギ
キクザトサワヘビ
クメトカゲモドキ
クメジマオオサワガニ





包括連携協定締結の背景

久米島町と本学の関係は、2008(平成20)年頃から、当時、経営学部所属の教授が久米島研究を始めた時から始まり、『久米島町観光振興計画』など観光ビジョンの策定や目標達成に向けた取り組みが続けられてきました。2018(平成30)年の包括連携協定締結後、地域創生をテーマとした観光学部の授業で久米島について学び、実際に現地に赴き現地調査を行ったうえで観光政策を提言する短期集中型の講座が開講されました。この他、芸術学部沖縄巡回公演が2000(平成12)年・2017(平成29)年に開催され、その際、久米島の町民との交流も実施されました。さらに、2022(令和4)年4月～2023(令和5)年3月には、農学部と観光学部が、LED電照栽培によるバニラビーンズ生産をケーススタディとして、久米島特産農産物の 6 次産業化の検討に関する研究を共同実施しました。

玉川学園サンゴ研究部研修旅行

玉川学園サンゴ研究部Secondary Divisionの学生と教員が2019(令和1)年7月に久米島でのサンゴ研修を実施しました。

コスモス祭 販売品 (2025年実績)



海ぶどう、もずく佃煮、サーターアンダギー、みそクッキー、黒糖、じーまみ豆腐
球美の塩、乾燥アーサ、車えびせんべい、紅芋タルト、ちんすこう、久米島鳥ジャーキー、
久米島そば、もずくうどん、もずくだれ

2025(令和7)年度 主な交流活動

2025年12月12日～15日　教育学部仁藤喜久子准教授と近藤洋子名誉教授が、そらなみ保育園、なでしこ保育園、清水幼稚園、仲里幼稚園にて「森のがっこう」を実施

久米島町役場ホームページ

久米島町観光協会ホームページ

2026年10月1日